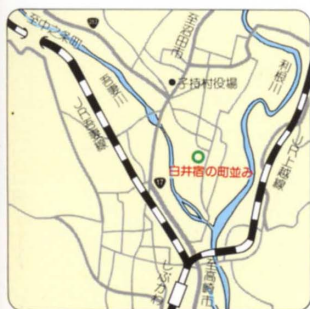


白井宿の町並み

▶ 群馬県子持村

データボード[®]69

- ① 群馬県子持村大字白井
- ② 延長900m
- ③ 無電柱化、つるべ井戸上屋復元など

白井宿は鎌倉中期に築かれた白井城の城下町で、その後市場町や宿場町として栄えてきた。

町並みの地割りは江戸時代初期のままであり、町を南北に貫く道路は中央に白井堰が流れ、桜、楓などの並木が続き、当時のつるべ井戸や石造物が点在し、土蔵やうだつ付き長屋門のある家並みも一部残されている。

この町並みを修景整備するため、子持村では電柱を撤去し、つるべ井戸の上屋復元や石畳の休憩所や水場の整備を実施したほか、地元住民によって「まちなみ整備保存委員会」が結成され、歴史的文化遗产の保存・継承に取り組んでいる。